

高 理療科 もう教育部門

教育目標	重点項目
①自身の障害特性を理解し、健康的な生活について自ら学び、実践する態度を養う。	・健康に働くための体力作りや個々の障害に応じた健康教育を継続的に実践する。 ・見え方に応じた情報の取得方法や安全な歩行方法などの自立訓練を実施する。
②主体的に学習に取り組み、社会に貢献するための知識や技術、施術者としてふさわしい態度が身に付くよう、キャリア教育の充実を図る。	・自らの進路の実現に向けて、必要な知識・技能の習得が行える学習環境を整備し、計画的に指導に当たる。また、家庭学習を習慣づける。 ・学ぶことと自己の将来とのつながりを見通しながら施術者としての資質・能力を身に付けていくことができるよう、教科・科目のつながりに留意した指導を行う。
③「働くこと」を通して社会の中での自身の役割を見つける。また、自分と他者を理解、尊重し、共に生きる社会の一員としての態度を養う。	・他者とのコミュニケーションを通して、自己理解を促し、よりよい人間関係を形成できるようにする。 ・臨床実習など地域住民との交流を通じた実践的な学習活動を通じ、地域や社会と共生することの重要性を身に付ける。

教育課程 高等部本科保健理療科 (令和4年度以降入学生)

教 育 課 程							教 育 内 容	
教 科	科 目	単位数(学習指導要領)				履修方法		
		第1学年	第2学年	第3学年	計			
基 礎 分 野	国 語	現 代 の 国 語	2	2		4	科学的思考の基礎 人 間 と 生 活	
		言 語 文 化				0		
	地理歴史	地 理 総 合	2	2		4		
		歴 史 総 合				0		
	公 民	公 共			2	2		
	数 学	数 学 I	2			2		
		科学と人間生活		2		2		
	理 科	生 物 基 礎	2			2		
		保 健 体 育		(2)※1		0		
	芸 術	体 育	2	3	2	7		
		音 楽 I		2		2		選択履修
		美 術 I						
書 道 I								
外 国 語	英 語 コミュニケーション I	2			2			
家 庭 情 報	家 庭 基 礎 情 報 I	(1)※2	(1)※2		0			
小 計		12	11	6	29			
専 門 基 礎 分 野	保 健 理 療	医 療 と 社 会	1		1	2	保健医療福祉とあん摩マッサージ指圧、はり及びきゅうの理念	
		人 体 の 構 造 と 機 能	10	1		11	人 体 の 構 造 と 機 能	
		疾 病 の 成 り 立 ち と 予 防		2	2	4	疾 病 の 成 り 立 ち、予 防 及 び 回 復 の 促 進	
		生 活 と 疾 病		5	2	7		
	小 計		11	8	5	24		
専 門 分 野	保 健 理 療	基 礎 保 健 理 療		3	2	5	基 礎 あ ん 摩 マ ッ サ ー ジ 指 圧 学	
		臨 床 保 健 理 療			6	6	臨 床 あ ん 摩 マ ッ サ ー ジ 指 圧 学	
		地 域 保 健 理 療 と 保 健 理 療 経 営			1	1	社 会 あ ん 摩 マ ッ サ ー ジ 指 圧 学	
		保 健 理 療 基 礎 実 習	4	4		8	実 習	
		保 健 理 療 臨 床 実 習			6	6	臨 床 実 習	
	小 計		4	7	15	26		
/	課 題 研 究	保 健 理 療 情 報	1	1		2	総 合 領 域	
		小 計	1	2	2	5		
	小 計		1	2	2	5		
小 計		28	28	28	84			
特 別 活 動 (ホ ー ム ル ー ム)		1	1	1	3			
自 立 活 動		1	1	1	3			
総 合 的 な 探 求 の 時 間			(1)※3	(2)※3				
合 計		30	30	30	90			

備考

- ※1 保健の2単位については、疾病の成り立ちと予防2単位で代替。
- ※2 情報 I の2単位については、保健医療情報2単位で代替。
- ※3 総合的な探求の時間3単位については、課題研究3単位で代替。